

令和4年10月7日

三矢の^{おしえ}訓協議会

安芸高田市・北広島町・三原市
2市1町の自慢食材を詰め込んだ

「三矢の^{おしえ}訓^{みっ}ちゃんこ鍋（愛称：三ちゃん鍋）」を開発！
試食会を実施します。

毛利三兄弟のふるさとである安芸高田市、北広島町、三原市は、令和3年度に広域連携による観光振興を目的とした「三矢の訓協議会」を設立しました。

現在、本協議会では、2市1町の食材を活用した「三矢の訓ちゃんこ鍋」の開発に取り組んでおり、この度試食会を実施する運びとなりました。

このちゃんこ鍋をきっかけに、2市1町の魅力を広く伝えることをめざします。

1 試食会について

(1) 日時

10月14日（金）12時～13時

(2) 出席者及び会場（各会場をリモートでつなぎます）

安芸高田市 市長 石丸伸二

（安芸高田市役所応接室：安芸高田市吉田町791）

北広島町 町長 箕野博司

（北広島町まちづくりセンター第一研修室：山県郡北広島町有田1234）

三原市 市長 岡田吉弘

道の駅みはら神明の里駅長 中田耕治

（三原市役所305・306会議室：三原市港町3-5-1）

(3) 内容

2市1町の会場をリモートでつないで試食会を実施し、鍋の更なる魅了向上に向けての意見交換を行います。試食会後に撮影用のちゃんこ鍋を用意します。（三原市会場のみ）

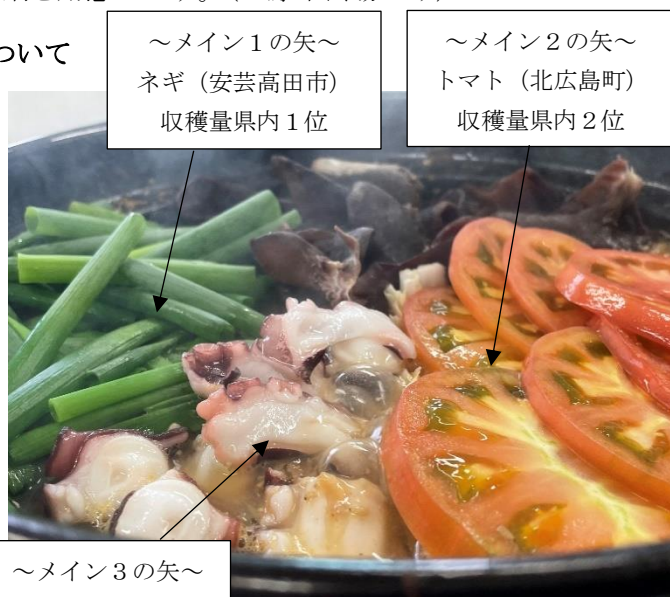
2 三矢の^{おしえ}訓ちゃんこ鍋（愛称：三ちゃん鍋）について

毛利三兄弟に由来する四股名を持つ荒汐部屋所属の若隆元様、若元春関、若隆景関へ差し入れをするため、開発を始めました。

鍋の食材は、身体づくり、疲労回復、スタミナアップの3つの効果を意識しつつ、食欲が進むピリ辛な味付けとなっています。メインの食材となるネギ、トマト、タコが、ふんだんに盛り込まれ、具だくさんで武将の豪快さがイメージできる鍋となっています。

完成した暁には、荒汐部屋への差し入れを行いネギ、トマト、タコの3本の矢で力士の胃袋を掴みたいと思います。

三矢の訓ちゃんこ鍋は、今回の事業に賛同いただいた、道の駅みはら神明の里の協力のもと、開発をしています。



△三矢の訓ちゃんこ鍋（イメージ写真）

【問い合わせ先】 観光課 課長 由水 有貴（よしみず ゆき）
観光企画係長 池田 康弘（いけだ やすひろ）

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号 電話 0848・67・6015(直通) FAX0848・64・4103

3 今後のスケジュールについて

10月14日（金） 試食会（本リリースの内容）

10月30日（日） みはら漁協まつり タコカニ合戦でテスト販売

(1) 時間

10時～16時

(2) 場所

道の駅みはら神明の里
(三原市糸崎 4-21-1)

(3) 内容

三原の海と川の漁協が、自慢のタコとカニを使った漁師飯で対決します。こちらのイベント内で、三矢の訓ちゃんこ鍋を販売します。

一杯 400円（税込）



調整中

荒汐部屋へ差し入れ

【三矢の訓協議会とは】

(1) 目的

2市1町の観光・歴史・文化資材等を活用し、広域観光振興、関係人口の増加及び地域の活性化に寄与する。

(2) 設立

令和3年10月15日

(3) 協議会構成

会長 三原市長 岡田 吉弘
副会長 安芸高田市市長 石丸 伸二
副会長 北広島町長 箕野 博司
他観光、文化に関係する行政職員で構成

毛利三兄弟のふるさと

長男 毛利隆元 (安芸高田市)
次男 吉川元春 (北広島町)
三男 小早川隆景 (三原市)

